

令和7年度第3回 宗像市市民文化・芸術活動審議会議事録

日 時	令和8年3月27日(金) 16:00~
会 場	宗像市役所 南館 203 会議室
出席者	委 員 ■宮崎 ■古本 ■篠原 ■七田 ■福間(順不同・敬称略)
	事務局 ■中村 ■村山 ■高尾 ■椎葉 ■井上

(事務局説明)

事務局より、アクションプランの位置づけについて説明。

アクションプランは、市の総合計画の下に位置づけられるものであり、具体的な取組方針を示すものである。

また、各事業の成果を個別に評価するものではなく、総合計画に掲げる KPI の達成に向けた取組の実施状況を整理・共有することを目的としている旨、前回審議会において説明済みである。

KPI は総合計画の成果指標であり、資料 1 に記載の 2 項目である。

アクションプランは、これら KPI 達成のための実行計画として位置づけており、最終的な評価は KPI に基づき行う。

進捗管理については、各取組の実施状況(計画どおりの実施可否や内容)を中心に整理し、必要に応じて参加者数等の数値を補足的に用いる。

また、アクションプランは目的別に整理しており、大項目Ⅰ・Ⅱは KPI①、大項目Ⅲ・Ⅳは KPI②の達成に資する取組として位置づけている。

—

(KPI 結果の報告)

事務局より、市民アンケート結果に基づく KPI の状況について説明。

KPI①(18歳以上49歳以下の鑑賞割合)は、中間目標60%に対し、令和7年度は38.7%。  
KPI②(同世代の活動実施割合)は、中間目標55%に対し、令和7年度は4.9%であった。

—

(要因分析)

KPI①については、令和6年度まで目標に近い水準で推移していたが、令和7年度に大きく低下。

要因の一つとして、アンケート設問の変更が考えられる。

従来は具体的な鑑賞内容を選択する形式であったが、令和7年度は設問を簡素化したことで、回答者が文化・芸術・娯楽の内容を具体的にイメージしにくくなった可能性がある。

今後は、設問に具体例を示すなど、回答しやすい工夫を検討する。

—

KPI②については、令和6年度(50.9%)から令和7年度(4.9%)へ大きく低下。

令和6年度は設問の範囲が広く、鑑賞や個人的活動も含まれていたため数値が高く出ていたと考えられる。

令和7年度は設問の見直しにより、「担い手としての活動」に近い実態を反映した結果と捉えられる。

今後は、所管部署と連携し、KPIの目的に即した設問となるよう改善を図る。

—

(取組実績の報告)

事務局より、アクションプランに基づく取組実績について説明。

KPIの対象が主に子育て世代であることから、関連事業を中心に説明を実施。

—

■ 大項目① 鑑賞機会の充実

子育て世代向け事業として、ユリックスにおいてキッズフェスティバル、子ども向け映画上映、親子向けコンサート等を実施。また、大規模イベントとして、王位戦や宗像フェスを開催し、来場者増加につながった。

■ 審議委員 A

キッズフェスティバルは4日間開催し、ニュースポーツ体験等を実施。

0歳から参加可能なコンサートや映画上映も行い、今後は来場者同士の交流を促進する取組を検討したい。

—

■ 大項目② 体験機会の充実

子ども向け体験事業として、縁日やフェス、ニュースポーツ体験等を実施。

また、文化協会による課外授業を通じ、伝統文化の体験機会を提供。

■ 審議委員 B

課外授業は、日常では体験できない内容が好評であり、特に生け花の参加者が多かった。今後も継続したい。

※大項目①・②は KPI①に関連

—

■ 大項目③ 参加・発表機会の充実

中学生の部活動地域展開として、吹奏楽クラブを複数校で設立。  
また、美術分野では大学と連携した取組を実施。

市内 4 大文化祭では、子どもたちの発表機会を提供。

#### 審議委員 B

市内 4 大文化祭は、市民の発表の場として機能している。

#### 審議委員 A

子ども芸術祭は、参加団体の固定化が課題であり、今後は幅広い参加を促したい。

—

#### ■ 大項目④ 育成のしくみの構築

地元アーティスト活用事業として、宗像市美術作品寄贈等基準を策定。  
企業連携では、Mu-Mo 開設に伴い子ども向け無料券等を配布。

※大項目③・④は KPI②に関連

—

(その他)

事務局より、令和 8 年度補助金制度について説明。  
補助率引上げおよび若年者枠・障がい者枠の新設により、新規申請の増加を期待。

#### 審議委員 C

大学生など若年層にも需要があると考えられる。

次回日程:令和8年 5 月 13 日(水) 9 時 30 分～  
令和 8 年度文化芸術活動事業補助金の実績報告会